

薬事委員会記録

日 時：平成 27 年 3 月 5 日(木) 16 時 00 分

場 所：医学部 1 階 小会議室

出席者：伊藤、西垣(和)、諏訪、木村(暁)、村瀬、早崎、平川、中山、川瀬、加納、市川、田中、杉山、畠山、長瀬、久保田、荒木、吉田、折居、玉井、安田(浩)、小森、西垣(美)

代理出席者：中村〔1 内〕、山内〔総診〕、森川〔2 外〕、菊地〔泌尿器〕、渡邊〔生体〕、坂田〔薬剤〕

委任状提出：山本、白上、富松、生熊

欠席者：棚橋、兼村、紀ノ定、堀川、酒々井

記録の承認

平成 26 年 12 月 4 日開催の薬事委員会の記録を承認した。

協議事項

1. 医薬品の採用について

8 品目（ボナロン経口ゼリー 35mg、アイリーア硝子体内注射液 40mg/mL、イクスタンジカプセル 40mg、ザイティガ錠 250mg、タペンタ錠 25mg、アネメトロ点滴静注液 500mg、エルカルチン FF 静注 1000mg、ネオレスタール注射液 10mg）の採用を承認した。

2. 医薬品の継続試用について

4 品目（ミレーナ 52mg、オイパロミン 300 注 50mL・同 100mL、ザルティア錠 5mg）の継続試用を承認した。

3. 医薬品の新規試用について

9 品目（ミルセラ注シリンジ 150 μ g、カドサイラ点滴静注用 100mg・同 160mg、スプレキユア MP 皮下注用 1.8、グラナテック点眼液 0.4%、ネオキシテープ 73.5mg、レスピア静注・経口液 60mg、メチレンブルー静注 50mg「第一三共」、大塚生食注 2 ポート 100mL）について、申請診療科および薬剤部より説明された後、新規試用の承認可否について投票を実施した。メチレンブルー静注 50mg「第一三共」については高価なため保留としたが、院内製剤が健康被害発生時の被害救済の対象外であること、出来高算定の対象品目であること、迅速な供給が確保されていることが確認されたため、原案通り全て承認された。

4. 医薬品の採用中止について

9 品目（クラシエ加味帰脾湯エキス錠、バナン錠 100mg、プリミドン細粒 99.5%「日医工」、イムシスト勝注用 81mg、デュロテップ MT パッチ 2.1mg、ネバナック懸濁性点眼液 0.1%、アプニション静注 15mg 3mL、アプネカット経口液 10mg、セファメジン α 点滴用キット 1g）の採用中止を承認した。

報告事項

1. 院外採用医薬品に関する薬事委員会 WG での決定事項

① 医薬品の院外採用について

12 品目（アグリリンカプセル 0.5mg、デカドロン錠 4mg、レグパラ錠 25mg、スタレボ配合錠 L50・同 L100、サラジェン顆粒 0.5%、タクロリムス錠 3mg「参天」、アクテムラ皮下注 162mg オートインジェクター、サーティカン錠 0.25mg、ストラテラ内用液 0.4%、タケキャブ錠 10mg・同 20mg）の院外採用が報告された。

② 同一成分で複数銘柄が採用されている院外採用医薬品

過去 1 年間の使用実績に差がある 18 組について、処方量の少ない品目を採用中止とし、汎用されている品目のみを採用することが報告された。

2. 採用変更医薬品について
セフメタゾール Na 静注用 1g「NP」への採用変更が報告された。
3. 製剤変更医薬品について
4 品目（トラマール OD 錠 25mg・同 50mg、トレリーフ OD 錠 25mg、アズノール軟膏 0.033%）の製剤変更が報告された。
4. 販売中止医薬品について
2 品目（クロール・トリメトン注 10mg、フェリコン鉄静注液 50mg）の販売中止が報告された。
5. 販売中止ワクチンについて
沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチンの販売中止が報告された。
6. 緊急購入医薬品の登録について
11 品目（ジャカビ錠 5mg、アクテムラ皮下注 162mg オートインジェクター、バニヘップカプセル 150mg、ベネシッド錠 250mg、スミスリンローション 5%、アーゼラ点滴静注液 100mg・1000mg、アブラキサン点滴静注用 100mg、ジェブタナ点滴静注 60mg、ジーラスタ皮下注 3.6mg、ポテリジオ点滴静注 20mg）の緊急購入の登録が報告された。

その他

1. 医薬品安全使用に関する業務手順書に基づいた業務実施状況について
調査は平成 27 年 1 月から 2 月にかけて行われ、医薬品安全使用に関する業務手順書に基づいて業務実施状況を評価したところ、C 評価の項目がなかったとの報告がされた。
2. 後発品への切替について
医薬品費適正化 WG で購入量に基づいて切替候補医薬品を挙げてもらい、その中から薬事委員会で検討してはどうかとの意見があった。また、ハイリスクではない切替可能な医薬品を選択して検討してはどうかとの意見があった。

次回薬事委員会の開催日時は、平成 27 年 6 月 4 日(木)とした。